

留萌地域情報受発信フリーペーパー

るもいfan

天塩町 | 遠別町 | 初山別村 | 羽幌町 | 苫前町 | 小平町 | 留萌市 | 増毛町

VOL. 2

2011.05.25

毎月発行

果樹の花咲く頃

<http://rumoifan.net>



巣箱を下ろす

小雨降る中、九州から二日あまりかけて到着したミツバチの巣箱を下ろす。巣箱のまわりには罨（ヒグマ）対策として電牧柵を張り巡らせ、大切なミツバチを守る。【写真：仙北清孝さん】



今月の表紙

「ブルーンの花とミツバチ」
5月の澄みきった青空のもと、増毛の果樹園の花は一斉に開き、ミツバチが花々を巡る。農作業の合間に撮影した貴重な一枚。【写真：仙北清孝さん】

春・果樹の花々 5月の果樹園は、甘い香りに包まれる。



サクランボ 7月にはサクランボ狩りが楽しめる。
【写真：仙北清孝さん】



ナシ 収穫は9月中旬から。追熟させて出荷する。



プラム 夏から秋にかけて長い期間味わえる小果実。



ウメ 収穫時期はお盆頃。ウメ漬けなどに利用される。

リハビリ・リンゴ園

～「医」と「農」を連携させた実験ファーム

5月7日(土曜日)小雨降る中、リハビリ・リンゴ園(増毛町暑寒沢)でリンゴの木を植えました。参加したのは子供から大人まで10名ほど、赤ちゃんと一緒に若い夫婦の姿もありました。事前にパパヤの里の富野さんが、リンゴの木を植えるための穴を掘って準備してくれていました。到着後、富野さんによる作業手順の説明を受け、二人一組で1本ずつ苗木を植えていきます。子供たちも初めての作業を楽しんでいる様子。木を植え終わると事務局の森さんが『リンゴの木の名前』を聞き取ってくれます。ニックネームや家族の名前をつける人など、思い思いに名付けました。私も『エフエムもえるちゃん』と名付けました。

リハビリ・リンゴ園の森さんにお話を聞きました。「リハビリ・リンゴ園とはハンディキャップをもつ人々がリハビリをかねて自然にふれあい、共同作業を通して社会性を取り戻すための、医と農を連携させた実験ファームのことで。リハビリ・リンゴ園ではハンディキャップという概念を広く捉えているので、誰もが参加可能です」。

参加申し込みは随時行われており、季節、参加者に応じて作られたプログラムを体験できます。

リハビリとリンゴ。一見すると共通点のない言葉の組み合わせですが、これからどんな体験ができ、どんな出会いが広がるか楽しみです。

(編集局)



指導者の富野嘉隆(とみのよしたか)さんから苗木の取扱いの説明を受けました



土を苗木の根にかけ、足で踏み慣らす。慣れない作業に腕が疲れました



小学生達も夢中で苗木を植えました。いい思い出になることでしょう


- 【体験期間】 通年 【体験可能人数】 1～50名
- 【体験所要時間】 1時間30分以上
- 【受入対象】 個人・団体・学校教育
- 【料金】 無料(但し、加工体験がある場合は実費)
- 【申込方法】 電話(1ヵ月前までに相談)
- 【ガイド】 有り 【バリアフリー対応】 無し
- 【外国語対応】 英語、ペルシャ語

リハビリ・リンゴ園

開設時間 要問合せ

休日 無休

駐車場 無料(約30台) 大型可

お問合せ  リハビリ・リンゴ園(担当 森)
電話 090-5983-2612
E-mail czf05106@nifty.com

リンゴを育てるには春夏秋冬、季節ごとに作業があるため、いつでも体験が可能です。障害や病気の度合いをドクターと相談しながら作業を決めることもできます。

まずは、リハビリ・リンゴ園の森さんに相談してみませんか。



北海道留萌管内体験観光サイト

るもい体験ナビ



北海道留萌管内の体験観光プログラムを幅広くご紹介。
<http://rumoifan.net/taiken/>

るもい体験ナビ

検索

主催/北海道留萌振興局産業振興部 商工労働観光課 留萌観光連盟事務局

〒077-0005 留萌市船場町2丁目J R留萌駅2階エフエムもえる内 TEL0164-42-3871 e-mail:info@rumoifan.net

果樹の花咲く頃

人とミツバチと果樹の里

その日は雨が降っていた。
鹿児島県南九州市知覧町から、トラックで運ばれた幾箱

もの黒い木箱が、夕暮れの春の雨に濡れている。ひとつまたひとつ、増毛町の果樹栽培農家の人々が、荷台から木箱を黙々と降ろし続ける。

木箱はミツバチの巣箱、無数のミツバチ達がひしめき合いつつ、果樹の花々との出会いを静かに待っていた。

受粉の季節

留萌管内増毛町は北海道の秀峰、暑寒別岳連峰の麓に広がるマチ。最北の果樹園地帯である。

ミツバチの第一陣がやって来るとの報せを受けて、増毛町果樹協会青年部、仙北昌洋

部長の果樹園を訪れたのは5月中旬のこと。

ミツバチは増毛町で栽培しているサクランボやリンゴ、ナシの受粉に欠かせない存在である。増毛町が人の手による受粉からミツバチによる受粉交配を導入したのは、昭和60年頃のこと。果樹農家は共同で、町内の養蜂家からミツバチを借り受け、果樹園に放つようになった。

花々を巡り、その小さな身体中に花粉をまとい飛び回る



春の夕暮れ、九州から到着したミツバチの巣箱を下ろす青年部員たち。

ミツバチの姿は、春本番を迎えた果樹園の風物詩である。花が咲く時期の天候は、収穫を左右する要因のひとつ。

気温が上がらなければ開花は遅れ、ミツバチ達の動きも鈍る。

最も怖いのは霜の被害だ。果樹農家は霜注意報が発令されれば、準備しておいた薪や枯れ草を夜通し焚き、木を守る。

霜の被害に遭った年、強風のため実りの季節に果実が落下した年もあった。何度となく自然の厳しさと向き合いながら、四代続く果樹園を守る仙北昌洋さん。

たゆまぬ努力

丹精込めて育てた果実のたわな実りは、果樹農家皆の願いだ。

現在10名ほどが在籍する



サクランボに訪花するミツバチ【撮影：仙北清孝さん】

増毛町果樹協会青年部では、病害虫の発生状況を調査する

『害虫予察』を行っている。調査した結果を部員がブログに報告しあうことで情報共有を可能にしている。

また、地域ぐるみで害虫のメスの匂いを漂わせる交信攪乱剤(フェロモン剤)を導入。針金状のフェロモン剤を果樹の枝にぶら下げること、害虫のオスは嗅覚が攪乱され、容易にメスと出会えない状況

となる。その結果、害虫の発生が押さえられ、農薬(殺虫剤)使用の軽減につながった。

増毛町の果樹園では予察と防除の二段構えで安全・安心な果実の生産を目指している。

「先進的な取り組みは頼もしく、若い後継者達に期待している」。そう語るのは増毛町果樹協会会長の仙北清孝さん。自らのブログで青年部の取り組みも紹介する。

ベテラン農業者からの熱い期待を受け、仙北昌洋さんらは地元的一次産業を支える責任を日々感じている。

「青年部の部長、経営者としての立場は大変だけれど、誰かがやらなければならぬ。大げさかもしれないけれど、僕は国の食料を支えているという誇りを持って、がんばっています」。

たゆまぬ努力に裏打ちされた言葉は、ずしりと重い。



仙北昌洋さん(仙北昌洋果樹園)
増毛町果樹協会青年部部長
ブログ <http://blog.livedoor.jp/fruitboys/>



増毛町果樹協会会長、仙北清孝さん(中央)の陣頭指揮で果箱の荷下ろし作業が行われた。
ブログ <http://kajuen.net/senboku/>

暑寒別岳の頂が白く際立つ春の増毛。

その裾野に広がる果樹の花々は、実りの季節を予感させるように次々と咲き誇っている。

真っ赤な瑞々しいイチゴをタルトにしてみました。サクサクしたタルト生地と濃厚なカスタードは色々な果物と合わせて応用ができます。

イチゴのタルト



■材料

- イチゴ 好きだけ
- 20 cmタルト台 1台
- カスタードクリーム 300g
- 飾り用粉砂糖 適量

〈タルト生地やカスタードの詳しい作り方は、「るもい食ペディア」をご覧ください〉

ホームページ URL

<http://rumoifan.net/shokupedia/>

■作り方

- ①タルト生地やカスタードクリームは前日に作っておくと作業が早い。
タルト生地は多めに作って冷凍しておく、いろいろな果物でタルトが作れる。
- ②焼いたタルト台にカスタードを詰めてならず。
イチゴをお好きなように飾る。
- ③好みでイチゴの上に粉砂糖をふってもよい。



甘酸っぱい味と香りのイチゴは、大人から子供まで人気の果物の一つです。定番のデザートは真っ赤なイチゴがのっているショートケーキ。

お母さんが作るケーキにもものっていたりして、イチゴのデザートは人々をハッピーな気持ちにしてくれるようです。

地元のイチゴが店頭に出回る頃、留萌管内は爽やかな風と緑に包まれます。家族でイチゴ狩りに行くのもいいですね。(編集局)



旬の特産品

るもいの旬の特産品をご紹介します！

No.2 「ハチミツ特集」

まつやま養蜂園（増毛町）

温暖でアカシアの木が多い増毛町。暑寒沢地区には多くの果樹園が立ち並ぶ。この土地で採集する、まつやま養蜂園のハチミツは巣箱から採集されたままのもの。

合成添加物は一切使用していない。風味・栄養は自然なハチミツならではのもの。自然のハチミツは早晚結晶するが、風味・成分等は変りない。

暑寒天然アカシア蜂蜜は、さっぱりとした後味で透き通るような透明感が自慢。

百花は増毛の自然が贈る数多くの花の蜜から採集された蜂蜜。あざみは7月下旬から8月中旬に採集される味にココのある蜂蜜。

※本年度蜂蜜の販売は7月以降になる（要問合せ）



（7月以降ラベルリニューアル）

まつやま養蜂園のハチミツ



まつやま養蜂園

〒077-0201
北海道増毛郡増毛町暑寒沢 221
TEL/FAX 0164-53-3487

その他の増毛町内販売店

・ましけマルシェ
営業時間 10:00～17:00
平成23年11月6日まで無休
北海道増毛郡増毛町永寿町1丁目
TEL 0164-53-2266



増毛町のPR事業、特産品を販売する店として、平成22年7月に開店



中川養蜂園のハチミツ

中川養蜂園（留萌市）

留萌市内に店を構える中川養蜂園は創業42年。すべての工程を社長である中川又丞（ゆうすけ）さん自身が行う。中川養蜂園では、アカシア・あざみ・クローバー・シナ4種類の蜂蜜を販売。



中川養蜂園

〒077-0031
北海道留萌市幸町2丁目
TEL 0164-43-5909
FAX 0164-43-5599

るもいコミュニティカフェテリア



「サクラ咲く頃、山の恵みとマス料理」5月13・14日

ワンプレートカフェ
毎月第2金・土曜日／700円
限定30食（要事前予約）

るもい管内は自然豊かな土地柄
それほど沢山の量ではないけれど
季節ごとに海の幸・山の幸
様々な食材を安心して食べることができる

地元の魅力を伝えたくて
今年もカフェテリアをオープン

予約・お問い合わせ

株式会社エフエムもえる

留萌市船場町2丁目 JR 留萌駅 2階
TEL 0164-42-3871
【開催時間】11時30分～13時30分
【場所】留萌健康の駅



「山のグリーン、海のオレンジスープ」5月25・26日

スープチョイスカフェ
第4水・木曜日／500円
限定30食（予約不要）



うまいよ！るもい市（留萌市）



「るもいfan」は、
留萌地域情報員による
留萌地域情報受発信の
フリーペーパーです。

るもいfanでは、留萌地域の
ネットワークを通じて収集した
観光情報、イベント、旬の話題、
人、食に関する情報を紹介し
ています。

北は天塩町から、南は増毛町
まで、北海道留萌管内8市町
村の地域ならではの魅力を、
全国へ、そして世界の皆様へ
向けて発信しています。

イベントカレンダー【6月】

1日(水)	 善和鳥WELCOME DAYS ～30日(水) 【羽幌町天売島】 世界有数のコロニー数を誇る善和鳥（ウトウ）を間近に見てみよう。	25日(土)	 みのや雅彦 デビュー30周年記念ふるさとコンサート 【羽幌町】 羽幌町中央公民館 今年デビュー30周年を迎える、みのや雅彦が地元で凱旋コンサート。
8日(水)	 とびっきり海鳥塾 第1期 ～10日(金) 【羽幌町天売島】 先着6名の限定塾第1弾。天売島の海鳥と自然について学ぼう。		 ハーレーダビッドソンMTG オロロンステージ ～26日(日) 【初山別村】 全国各地から200台を超えるハーレーが大集合。
10日(金)	 とびっきり海鳥塾 第2期 ～12日(月) 【羽幌町天売島】 先着6名の限定塾第2弾。週末は天売島で海鳥を観察しよう。		 はぼろ甘エビまつり ～26日(日) 【羽幌町】 はぼろバラ園 昨年まで行われていた「はぼろ味まつり」がリニューアル。
15日(水)	 鼓童ワン・アース・ツアー 【小平町】 結成30周年を迎えた今年、10年ぶりの小平町公演。太鼓の音色と振動に酔いしれよう。		 オートキャンプフェスティバル ～26日(日) 【留萌市】 全道・全国からオートキャンパー達と一緒に会える。
18日(土)	 暑寒別岳開山式 【増毛町】 暑寒別岳登山口 （暑寒ルート） 登山シーズン開始を告げる開山式。多くの登山客が暑寒別岳に挑む。	26日(日)	 うまいよ！るもい市 【留萌市】 留萌市地方卸売市場 6月のオススメは、ホタテとウニの袋詰め放題。その他、留萌の美味しい味覚もそろっています。

留萌地域情報サイト

るもいfan

http://rumoifan.net

るもい fan

検索

るもいの旬の情報を毎日更新中！

あなたの人・食・地域の情報
お待ちしております！



FMもえる 76.9MHz
「わがマチ元気発信」
平日 8:25/12:25/18:25～



ポッドキャスト配信中！
るもいfan トップページ
「わがマチ元気発信」からアクセス



北海道留萌管内体験観光サイト
るもい体験Navi
http://rumoifan.net/taiken/